



「平成21年度科学技術振興調整費「重要政策課題への機動的対応の推進」プログラムを活用した課題:

「研究機関における機関内倫理審査委員会の抱える課題の抽出とその対応に向けた調査研究」

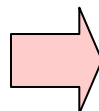
生命倫理専門調査会
2009年5月19日



【生命倫理専門調査会】

過去の議題

- ヒト胚を用いる研究等の倫理問題の検討
- ES細胞指針
- 特定胚指針
- 生殖補助医療研究のあり方について
- その他
 - ▶ 遺伝子検査研究の問題
 - ▶ 脳科学研究の倫理
 - ▶ ES細胞を用いた臨床研究の現状

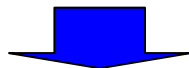


機関内倫理審査委員会のあり方に関する問題点が提示された。

- 活動、能力、組織体制、人員、質

研究機関の機関内倫理審査委員会の課題の把握と、その対応は急務である

- 各研究機関は独自の倫理審査委員会を持っているが、基本的な指針は存在するが、研究のすべてを網羅するような規定は存在しないため、組織、活動、判断等に差が出てくることが想定される。
- 研究機関の倫理審査委員会は生命倫理に関係する最先端の研究の道筋を適切に導くものであり、場合によっては、研究の速度等に大きな影響を与えることもある。



- **国内の研究機関等の倫理審査委員会の現状と課題を調査**
(大学、医療・研究機関、製薬企業、学会、NC)
- **課題を分析し、解決に向けた対応策の検討**
- **海外の研究機関等の倫理審査委員会の状況を調査・分析**
(大学、医療・研究機関、学会、政府・規制当局)
- **調査結果の取りまとめと報告書作成**

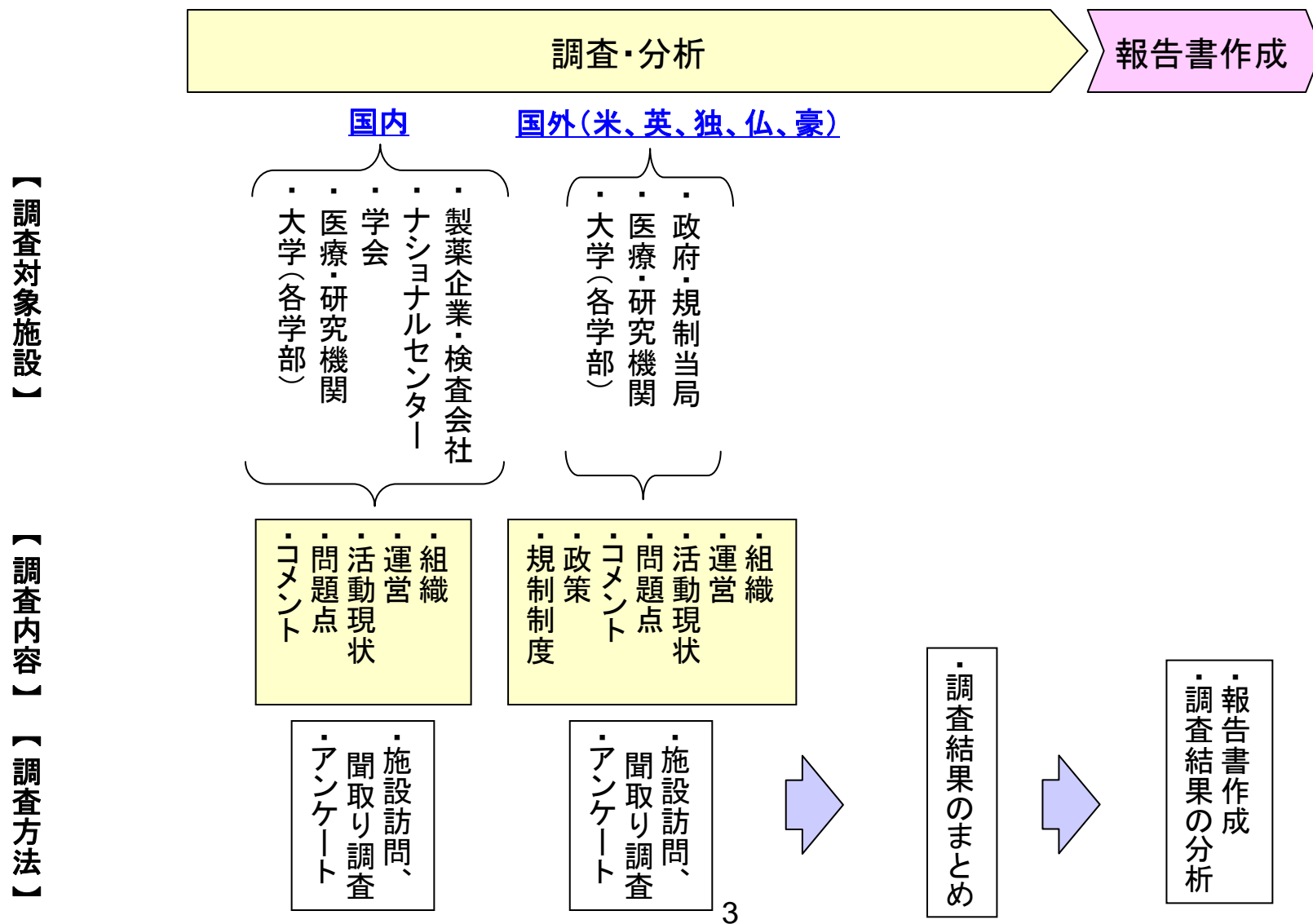


生命倫理専門調査会

- 報告
- 議論
- 指針作成



【調査研究の流れ(案)】





【調査研究のTimeline（案）】

